

# 令和三年度 数物科学専攻 物理学系 修士論文審査会プログラム

1 日目: 2022 年 2 月 17 日(木) 9:00-16:50

G101 教室と Zoom

時間	発表者	タイトル
8:55-9:00	諸注意	司会: 下村
9:00-9:25	久米 望未	高速イオンビームによるグラフェン膜透過後の散乱パターン (放射線物理学研究室, 指導教員: 石井邦和)
9:25-9:50	田代 圭乃	高速分子イオンを用いた後方散乱エネルギースペクトルへのクーロン爆発の寄与 (放射線物理学研究室, 指導教員: 石井邦和)
9:50-10:15	鈴木 那梨	X線天文衛星「すざく」による超新星残骸 W49B の観測的研究 (宇宙物理学研究室, 指導教員: 山内茂雄)
休憩 (10:15-10:30)		
司会: 松岡		
10:30-10:55	今野 つかさ	Belle II 実験の 2021 年運転期間における電磁カロリメーターでのビームバックグラウンド測定 (高エネルギー物理学研究室, 指導教員: 宮林謙吉)
10:55-11:20	楠戸 愛美	Belle II 実験における $B^0 \rightarrow J/\psi K^{*0} (\rightarrow K^+ n^-)$ モードを用いたフレーバー誤認率と $\Delta t$ 分解能の評価 (高エネルギー物理学研究室, 指導教員: 宮林謙吉)
11:20-11:45	柴田 実香	RHIC-PHENIX 実験での原子核衝突における QGP 中のエネルギー損失の系統的研究 (高エネルギー物理学研究室, 指導教員: 下村真弥)
11:45-12:10	森田 美羽	RHIC-sPHENIX 実験のための INTT 検出器のデータ読み出し性能の評価 (高エネルギー物理学研究室, 指導教員: 蜂谷崇)
昼食 (12:10-13:15)		
司会: 大木		
13:15-13:40	塩路 文音	非線形シグマ模型を用いたシグマ中間子の性質 (ハドロン物理学研究室, 指導教員: 永廣秀子)
13:40-14:05	高田 伊代	Nambu-Jona-Lasinio 模型におけるカイラル対称性回復の様相 (ハドロン物理学研究室, 指導教員: 永廣秀子)
14:05-14:30	小島 由衣	カイラル有効模型を用いた中間子原子核構造の研究 (ハドロン物理学研究室, 指導教員: 永廣秀子)
14:30-14:55	内田 茉友子	Au-Cu-Al 合金における結晶構造の精密解析 (金属物性物理学研究室, 指導教員: 松岡由貴)
休憩 (14:55-15:10)		

時間	発表者	タイトル
司会：石井		
15:10-15:35	佐々木 智子	メビウス変換のゲージ固定についての再考察 (素粒子論研究室, 指導教員:高橋智彦)
15:35-16:00	伊藤 ともえ	CP <sup>N-1</sup> 模型における双対性と有効ポテンシャルの解析 (素粒子論研究室, 指導教員:高橋智彦)
16:00-16:25	蜂須賀 万結	位相アンラッピングの情報統計力学的解析 - 擬似二次元モデル及び二次元モデル - (非平衡ダイナミクス研究室, 指導教員:狐崎創)
16:25-16:50	馬場 明日香	時間依存密度汎関数法による高 Z イオンの自動電離過程に関する 理論的研究 (非線形情報統計力学研究室, 指導教員:清川修二)

**2日目: 2022年2月18日(金) 9:00-10:40**

**G201 教室と Zoom**

時間	発表者	タイトル
司会：蜂谷		
9:00-9:25	上條 美里	フタロシアニン分子性結晶の混晶系における電子状態と電気伝導度の 理論的研究 (凝縮系の物理学研究室, 指導教員:土射津昌久)
9:25-9:50	渡利 江里奈	スピン欠陥を有する一次元分子性導体の電荷秩序に関する理論的研究 (凝縮系の物理学研究室, 指導教員:吉岡英生)
9:50-10:15	戸倉 紗規	遷移金属を含む分子の有効モデル構築と電子状態の理論的研究 (凝縮系の物理学研究室, 指導教員:土射津昌久)
10:15-10:40	吉田 英里子	自明な 2 次元蜂の巣格子絶縁体における磁気秩序 - 異なるバレーチェーン数をもつ系の接合 - (凝縮系の物理学研究室, 指導教員:吉岡英生)

## 【審査会の注意事項】

1. Zoom (オンライン)と G101 教室(1 日目)、G201 教室(2 日目)を併用して行います。  
オンライン参加者は以下の Zoom ミーティングに参加して下さい。

<https://us06web.zoom.us/j/87170331600?pwd=aTBGUmV5Z09uUE1UWDU1MGlxRTZlZz09>

対面での発表を希望する場合は教室に来て下さい。

(今後の状況次第では、完全オンラインでの開催になることもあります)

2. 発表者は Zoom(音声、画面共有等)が使えること、また教室での発表者は G101(または G201)教室のプロジェクトへの接続と Zoom の両方が使えることを必ず事前に確認して下さい。

3. 講演時間について

一人 20 分(発表)+5 分(質疑応答)。

ベル 1 回目 : 発表終了 5 分前(開始後 15 分)

ベル 2 回目 : 発表終了(開始後 20 分) 発表途中でも打ち切ります。時間厳守。

ベル 3 回目 : 質疑応答終了(25 分経過)

(オンライン参加者にはベルが聞こえないので、オンラインでの発表者は自身で講演時間を管理すること)

## 【発表者用マニュアル】

教室で発表を行う場合

1. 発表前に Zoom に参加し、画面共有機能を使って発表スライドを表示する。
2. プロジェクタに接続し、共有画面を教室のスクリーンにも表示する。

オンラインで発表を行う場合

1. 発表時に画面共有機能を使って発表スライドを表示する。
2. PC にウェブカメラがついている場合、発表中カメラをオンにする。

## 【教室での発表のための事前確認について】

G201 教室を下記時間予約しています。午後から 19 時頃まで機器収納台の鍵を開けておくので、プロジェクトの接続の確認に使って下さい。

【日時】2月13日(日) 終日

2月14日(月) 14:40以降終日